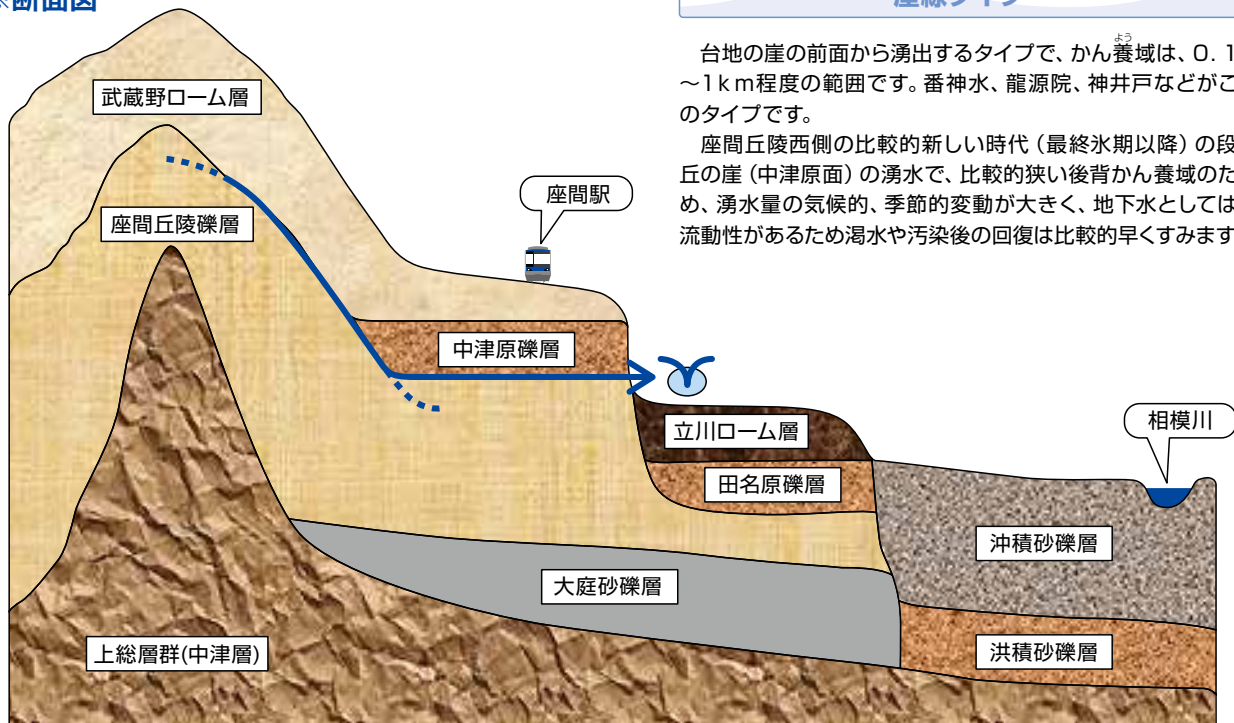


## 湧水の湧出模式図

だんめんす  
※断面図



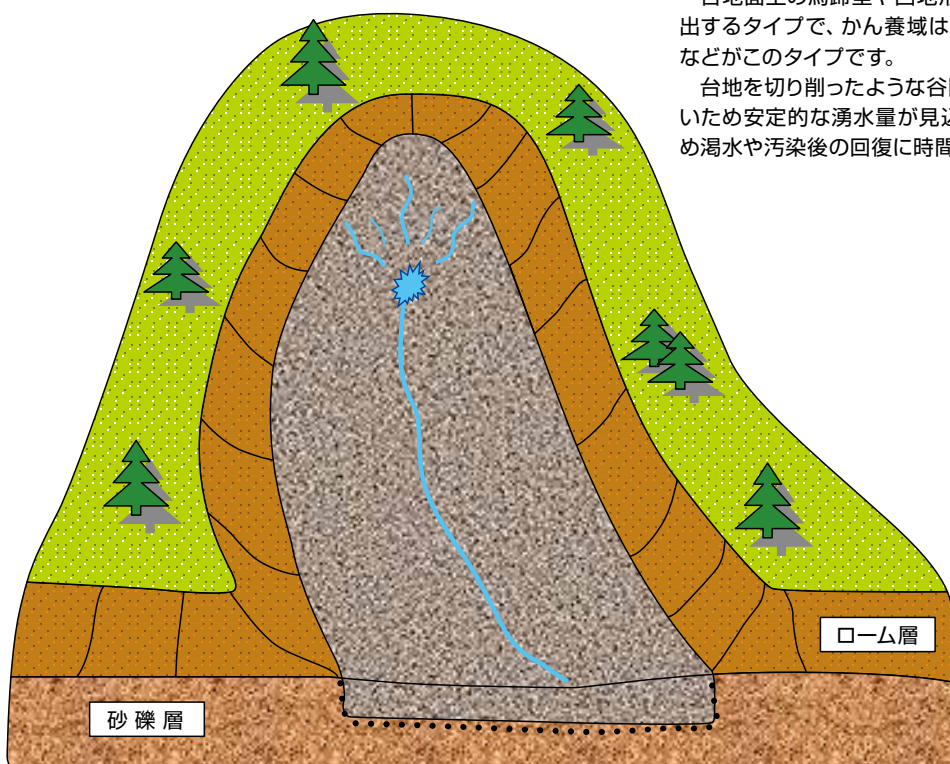
がいせん

崖線タイプ

台地の崖の前面から湧出するタイプで、かん養域は、0.1～1km程度の範囲です。番神水、龍源院、神井戸などがこのタイプです。

座間丘陵西側の比較的新しい時代（最終氷期以降）の段丘の崖（中津原面）の湧水で、比較的狭い後背かん養域のため、湧水量の気候的、季節的変動が大きく、地下水としては流動性があるため湧水や汚染後の回復は比較的早くすみます。

ちょうかんす  
※鳥瞰図



こくとう

谷頭タイプ

台地上の馬蹄型や凹地形などの谷地形をなす所から湧出するタイプで、かん養域は広大です。芹沢川、いっぺい窪などがこのタイプです。

台地を切り削ったような谷間からの湧水で、かん養域が広い安定な湧水量が見込まれますが、流動性が低いいため湧水や汚染後の回復に時間がかかります。